

議会だより

みなさん

ん おめでとウ

VOL.74
3月議会
令和6年5月発行

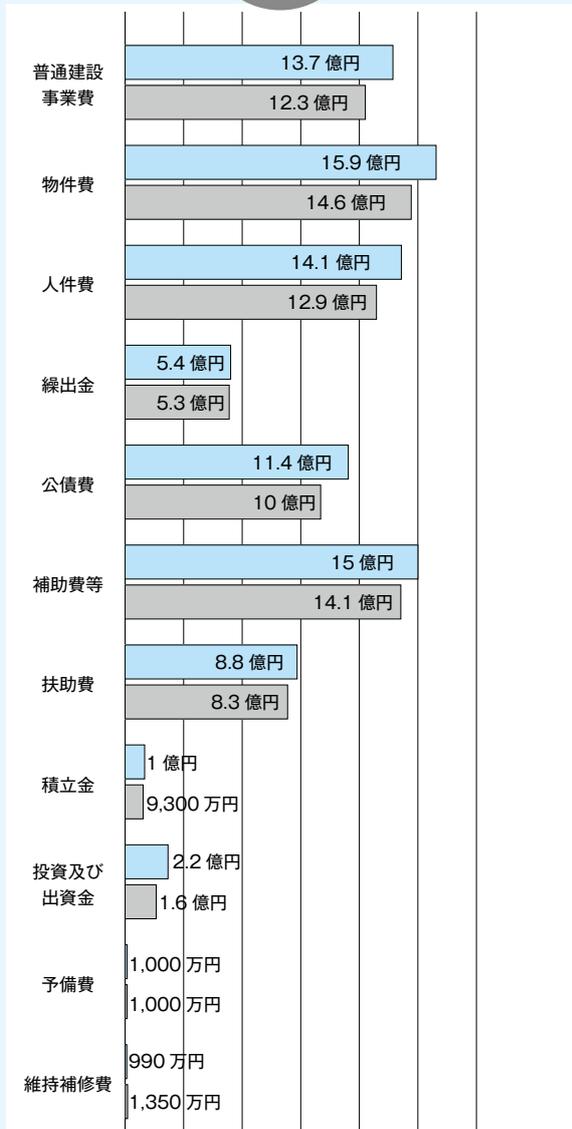


- 令和6年3月定例会 2~10
- 一般質問 11~18
- 産業建設常任委員会レポート 19
- 町内あれこれ 20

額 **140億8,891万円**

● **一般会計** / **88億200万円** (前年比+6億5,100万円)

歳出



歳入



令和6年度 令和5年度 ※金額については端数をカットし表記しています。

一般会計当初予算額の推移



平成30年度 令和元年度 2年度 3年度 4年度 5年度 6年度

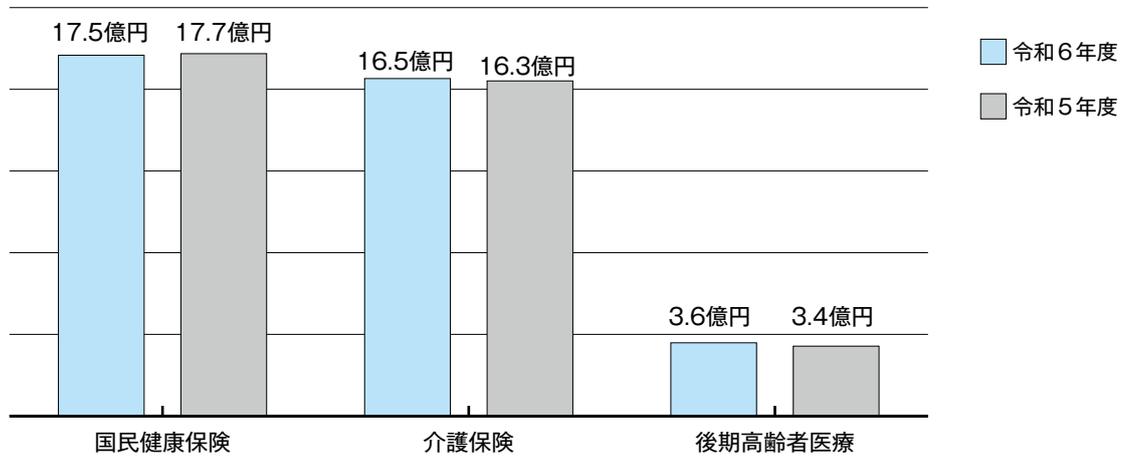
一般会計の予算は前年に比べ、6億5,100万円の増加となっています。増額の主なものとして普通建設事業費の上南部中学校管理棟改修工事、物件費は各種計画策定業務、電算システム標準化、選挙事務費などです。人件費の増額の要因としては、会計年度任用職員勤勉手当、人事院勧告等によるものです。

歳入については町民税等が減額する見込みで、自主財源の割合は31.7%と見込んでいます。

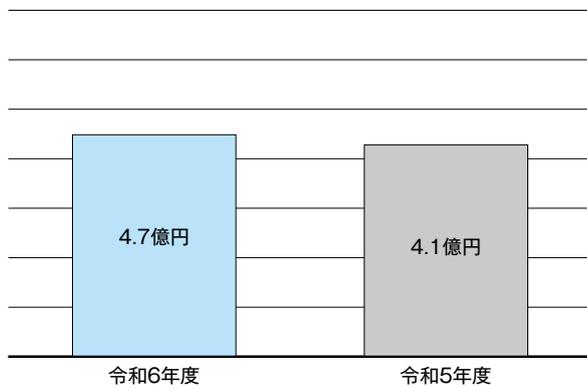
令和6年度当初予算 総

●特別会計／総額37億7,523万円

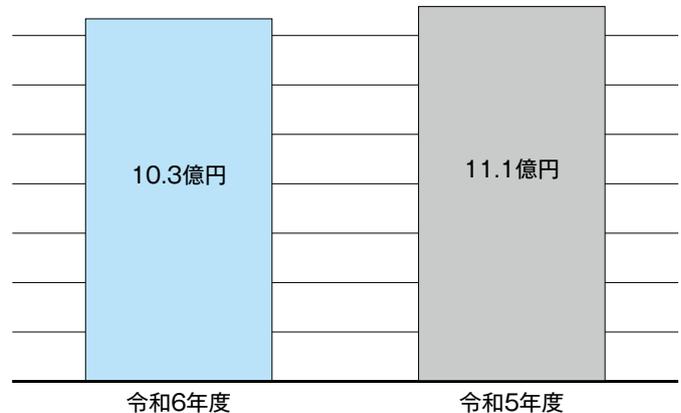
(前年比－1,344万円)



●水道事業会計 4億7,508万円 (収益的支出+資本的支出)



●下水道事業会計 10億3,659万円 (収益的支出+資本的支出)



会計別当初予算

(単位：千円)

会計名	令和6年度	令和5年度	増減額
一般会計	8,802,000	8,151,000	651,000
国民健康保険特別会計	1,753,845	1,777,556	△23,711
後期高齢者医療特別会計	363,369	346,469	16,900
介護保険特別会計	1,658,018	1,637,764	20,254
水道事業会計 (収益的支出+資本的支出)	475,088	417,992	57,096
下水道事業会計 (収益的支出+資本的支出)	1,036,592	1,113,878	△77,286
合計	14,088,912	13,444,659	644,253

特別会計の総額は前年と同程度の予算となっています。水道事業会計の増額は、給水車の購入や送配水施設整備費が主なものとなっています。

下水道事業会計では、新規の予算として、し尿・浄化槽汚泥受入検討業務委託料が計上されていますが、減価償却費の減額が大きく、前年に比べて7,728万円の減額となっています。

梅 PR ラッピングバス運行

新規

800万円

みなべ町合併20周年を記念して、東京都内を運行する2階建てロンドンバスに梅のPRラッピングを施し、5月31日～6月30日のうち25日間運行する予定です。（詳細は裏表紙の町内あれこれをご覧ください）



昨年運行したバス

上南部中学校改修工事

新規

1億6,000万円

令和7年の高城中学との統合を見据えての改修工事です。主な内容は、職員室の増床および内装全面改修、体育館への渡り廊下整備、技術教室棟、金工室の美術教室への改修、美術教室の特別支援教室への改修です。これは特別支援教室を2部屋確保するためです。金工室は今後とも使用しません。



結婚新生活支援補助金

新規

300万円

結婚新生活に係る支援の補助金です。

★対象者

- ・令和6年1月1日から令和7年3月31日までの間、婚姻の届け出をし、継続している。
- ・婚姻の届け日は夫婦ともに39歳以下である。
- ・夫婦の所得は合算して500万円未満である世帯。（詳細は政策推進課窓口まで）



給水タンク車購入

新規

2,500万円

現給水車は購入から28年経過して老朽化していることや、県の補助金（補助率1/2）が受けられるため、新たに購入するものです。大規模災害時の断水や普段の漏水工事に備えます。



現給水車

町道名の内線改良工事

継続

1億5,720万円

令和4年度より新たに創設された個別補助事業を活用し行う工事です。

幅員5mで、延長100mの道路改良を年度内完成に向けての工事となります。



堺漁港しゅんせつ工事

新規

1億8,000万円

漁港機能保全計画に基づく保全工事の費用です。

堺漁港の本港と西港のしゅんせつ工事を行います。



お買い物券配付

継続

6,000万円

みなべ町合併20周年にあたり、町内の取扱店で利用できるお買い物券（町民一人当たり5,000円分）を、8月中を目処に全世帯に配布する予定です。



空き家解体処理費補助金

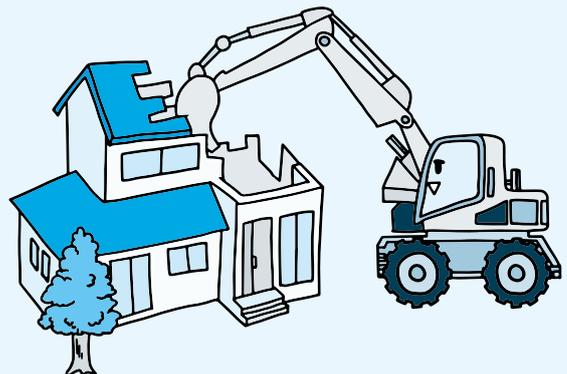
継続

1,200万円

住宅20戸分（5戸増）で、住宅は上限60万円、倉庫は上限30万円です。補助率は解体処理工事費の3分の2となります。

★受付期間

令和6年5月7日～12月20日



主な議案質疑
Q & A 編
抜粋

条例改正

みなべ町課設置条例の改正

Q 「政策推進課」の業務内容、職員数、課の場所は。

A 業務は、長期総合計画、総合戦略、移住・定住、ふるさと寄附、町有地の利活用等を考えています。職員数は6名、場所は総務課の一画を予定しています。



Q 「政策推進課」の今後の方向性は。

A 企画や政策を重点的に推進していくための検証や検討、各課との調整、支援を行う専門セクションとして設置しました。

令和6年度
一般会計予算

総務課

みなべ町結婚新生活支援補助金 300万円

Q 補助の内容や対象者は。

A 令和6年1月1日から令和7年3月31日までの間に結婚し、夫婦ともに年齢が39歳以下、かつ世帯所得が500万円未満の世帯が対象。対象となる費用は、住宅家賃と引越し費用です。

補助の上限は夫婦ともに29歳以下なら、60万円、それ以外の場合は30万円になります。

ります。みなべ町内に住むことが条件になります。

総務課

地域力創造アドバイザー委託料 560万円

Q 地域力創造アドバイザーを招くことについて、町は何を期待しているのか、誰にアドバイザーをお願いするつもりなのか。

A 世界農業遺産を核とした地域づくり、未来都市の在り方等のアドバイスをいただきたいと考えています。アドバイザーとして大学教授を予定しています。



写真提供：世界農業遺産協議会

健康長寿課

妊婦健康診査委託料

532万円

Q 妊婦健康診査の内容、何人分を想定しているのか。

A エコー検査、血液検査、感染症検査などを行います。65名分14回の健診を予定しています。

みなべ町出産育児応援金

600万円

出産・子育て応援給付金

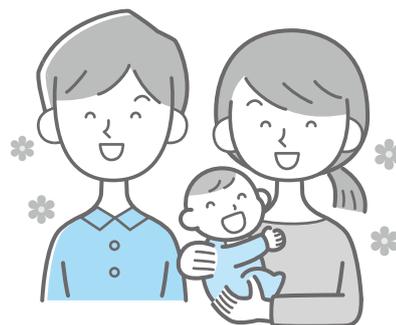
625万円

Q みなべ町出産育児応援金(A)、出産・子育て応援給付金(B)の違い、それぞれの内容をもう少し詳しく教えてください。

A (A)は町単独事業で、出産されたお子さんの保護者に対して10万円を支給しています。

(B)は国の事業で、妊娠されたら5万円、出産されたら5万円、トータル10万円を支給します。

円を支給します。
(A)(B)合わせて20万円を支給することになります。



子育て支援アプリ情報配信サービス利用料

26万円

Q 子ども・子育て支援アプリ「母子モ」(ぼしも)の内容についてももう少し詳しく聞きたい。

A 母子手帳の機能があり、妊娠中から出産、乳幼児健診、予防接種等の記録を管理します。

今後、みなべ町版の「母子モ」を作成します。

ウメ・サクラ・モモ・スモモを枯らす害虫! 梅の産地を守ろう!
特定外来生物
クビアカツヤカミキリ
見つけたらすぐ連絡を!

日本一の梅の産地崩壊の危機になる可能性も!
 日本一の梅の産地である島根県では他に類を見ないほどの大量の害虫が侵入し、もたらす被害は、産地崩壊の危険になる非常に深刻な問題! 早期発見を要請し、被害樹の発見・連絡・適正処分を助産金を交付いたします。

賞賛金+伐採支援金
最大70,000円

クビアカツヤカミキリはこんなところにもいます!
 樹幹の皮を剥ぎ取って木を枯らす害虫です。クビアカツヤカミキリは、産地崩壊の危険を知らせる重要な役割を果たしています。早期発見を要請し、被害樹の発見・連絡・適正処分を助産金を交付いたします。

連絡先 **0739-72-1174** (A区) 0739-72-1337 (B区)

産業課

病害虫防除対策事業補助金

162万円

Q クビアカツヤカミキリ対策として抜根・伐採への補助金が計上されているが、事前防除の新しい薬剤などに補助金は使えないのか。

A クビアカ対策では、被害樹の伐採・伐根に町及び県の補助金を計上しています。また、フラスの発見には農業士会への補助金から懸賞金が出ます。新薬剤については未開発の部分もあり、現状では対象外となります。

うめ課

ラジオ

キャンペーン

990万円

Q 長年続けてきたラジオ

キャンペーンの効果を疑問視する声もある。これは、

どういうねらいか、またそのターゲットの想定は。

A ラジオキャンペーンは、合併前から行ってきました。年間1000本あまりを全国に流してきた自信もあり、もう一年は実施したいと思っています。長くやり続けることで新たに若い層がこの番組のファンになってくれることも期待できると考えます。

堺漁港しゅんせつ工事

1億8,000万円

Q 漁港のしゅんせつ工事

で、水分を多く含むしゅんせつ土を直接ナデオ地区に

持って行くのか。それとも一旦仮置場で干した後に運ぶのか。

A しゅんせつにあたっては、事前に海底の土壌を検査し問題がないことを確認し工事にかかります。しゅんせつ土の仮置は、堺漁港のグラウンドを考えています。その後、ナデオ地区へ搬出することになります。なお、必要に応じてセメント混入などの処理も想定されます。実態を踏まえて対応したいと思います。

教育学習課

上南部中学校

管理棟改修工事

1億6,000万円

Q 改修工事費用のうち

管理棟大規模改修部分とその他既設部分の工事費の内訳は。

別棟の技術教室棟で、従来の金工室が美術教室に変わるとあるが、どういう理由によるか。

A 管理棟の大規模改修で1億円あまり、既設本校舎の改修で3,000万円あまり、技術棟の改修で2,000万弱ほど見込んでいます。

美術教室が移動するのは、統合後を見ずえ新たに特別支援教室を2部屋造るためです。一方、技術家庭科では金工領域を扱わなくなっており、この教室を美術室に変更することとしました。

日本体育大学

スポーツ交流事業

138万円

Q 給水車の新規購入で、古い方の給水車は廃棄するのか。また、これまで給水車は年に何回ぐらい出動してきたのか。

A 旧車はまだ使えるので、当面は2台体制を考えています。出動状況は、最近では和歌山市の水管橋の落下にともなう支援などがあります。普段でも漏水工事の際などに年3回程程度使用しています。



Q この事業の趣旨は何か。派遣対象や人数、その選考方法は。

生活環境課

給水車購入

2,500万円

A 大学では、栄養学、トレーニング方法やけがをした場合の対応など、スポーツ全般について学んでもらいます。

対象はスポーツをやっている中学1・2年生で25名を予定。各校を通じて希望者を募り、これまでその全員を派遣しました。

みなべ町介護保険条例の一部を改正

令和6年度から令和8年度の65才以上の方の介護保険料が、従来の9段階から下記の13段階になります。

これは介護費用が増え続ける中、持続可能な仕組みをつくるために、厚生労働省が令和6年度から、65歳以上の高齢者が支払う介護保険料について、年間所得が420万円以上の高齢者を対象に引き上げることによるものです。一方、所得が低い高齢者の介護保険料は減額されます。

段階	所得区分	旧介護保険料(円)	新介護保険料(円)
第1段階	本人が生活保護受給者 世帯全員が住民税非課税で、老齢福祉年金受給者 世帯全員が住民税非課税で、前年の合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下	41,850	38,160
第2段階	世帯全員が住民税非課税で、前年の合計所得金額+課税年金収入額が80万円超120万円以下	62,775	57,456
第3段階	世帯全員が住民税非課税で、前年の合計所得金額+課税年金収入額が120万円超	62,775	57,876
第4段階	世帯の誰かに住民税が課税されているが本人は住民税非課税で、前年の合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下	75,330	75,492
第5段階	世帯の誰かに住民税が課税されているが本人は住民税非課税で、前年の合計所得金額+課税年金収入額が80万円超	83,700	83,880
第6段階	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が120万円未満	100,440	100,656
第7段階	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が120万円以上210万円未満	108,810	109,044
第8段階	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が210万円以上320万円未満	125,550	125,820
第9段階	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が320万円以上(令和6年以降は、420万円未満)	142,290	142,596
第10段階	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が420万円以上520万円未満		159,372
第11段階	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が520万円以上620万円未満		176,148
第12段階	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が620万円以上720万円未満		192,924
第13段階	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が720万円以上		201,312

みなべ町給水条例の一部を改正

水道料金は令和7年1、2月の使用分から、下記の通り改定されます。

改定の理由は、津波対策のための浄水場の高台移転や配管の更新に大きな予算が必要なこと、また給水人口の減少、宿泊客の減少、節水型機器の普及等を要因とする赤字を解消するためです。

区分(口径)	基本水量	基本料金(2か月分)	超過料金(1㎡につき)	
13mm	20㎡	1,507円		88円
20mm	40㎡	3,850円		110円
25mm	40㎡	3,850円		110円
40mm	40㎡	3,850円		231円
50mm	40㎡	3,850円		231円
75mm	40㎡	3,850円		231円
100mm	40㎡	6,160円	4,000㎡まで	176円
			4,001㎡から	275円



区分(口径)	基本水量	基本料金(2か月分)	超過料金(1㎡につき)	
13mm	20㎡	1,883円		143円
20mm	40㎡	4,812円		179円
25mm	40㎡	4,812円		179円
40mm	40㎡	4,812円		376円
50mm	40㎡	4,812円		376円
75mm	40㎡	4,812円		376円
100mm	40㎡	7,700円	4,000㎡まで	286円
			4,001㎡から	448円

令和5年度 一般会計

補正予算

注目予算をピックアップ

令和6年 第1回臨時会(1月)

補正額	項目	主な内容	総額
1億3,550万円	企画総務費	ふるさと応援寄附金関係費	1,980万円
	地域づくり基金費	地域づくり基金積立金	1,770万円
	臨時特別給付金費	物価高騰重点支援給付金	1,850万円
	商工総務費	国民宿舎紀州路みなべ本館・別館 空調設備改修工事費	2,090万円
	学校管理費	上南部中学校仮設管理棟建築工事費	5,000万円
			94億 17万円



1 ふるさと応援寄附金関係費 1,980万円

令和5年12月末時点で、当初予算額1億5,000万円を超え、寄附金額が4,000万円増と見込まれます。それにとまう返礼品1,440万円、ポータルサイト手数料540万円の増額です。



2 物価高騰重点支援給付金 1,850万円

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、令和5年度において、住民税均等割のみ課税された世帯に10万円を給付します。また、住民税非課税世帯と住民税均等割のみの課税世帯で、18歳以下の児童を養育している場合は、児童1人に5万円の追加給付を受けることができます。内訳は、均等割のみの課税世帯を50世帯、子育て分として270人を予定しています。



3 国民宿舎紀州路みなべ本館・別館空調設備改修工事 2,090万円

改修箇所は、本館1階ロビー付近、別館客室及び廊下です。

塩害による室外機等の故障が多く、また機能していない機器もあるため更新します。工事期間は、塩害仕様で調達に時間がかかることから全額を繰り越し、本年7月の休館時に整備予定です。



4 上南部中学校仮設管理棟建築工事費 5,000万円

改修工事の期間中、仮設の管理棟が必要です。1年間のリースを予定していて、それにとまう建築等の関連工事となっています。3月に工事発注し、工期は4月からの3か月を予定しています。

令和6年 第1回定例会(3月)

補正額	項目	主な内容	総額
876万円	保育所及びこども園費	会計年度任用職員報酬	144万円
	河川総務費	負担金	501万円
	学童保育所管理費	会計年度任用職員報酬	230万円
			94億 894万円



1 河川総務費 負担金 501万円

県営砂防事業の負担金で、内訳は国補助の急傾斜地崩壊対策事業6地区計456万円と、県補助の災害緊急がけ崩れ対策事業1地区45万円です。

3月のトピック

令和6年度から新たに「政策推進課」が誕生！

「政策推進課」の設置

第1回定例会(3月)において、新たに「政策推進課」が設置され、令和6年4月1日からスタートしました。

Q 「政策推進課」とは？

A 主要な施策を推進していく業務を担います。

長期総合計画、空き家問題、人口減少問題等、町の重要課題について、住民の声を聴きながらみなべ町の将来像を関係各課と模索、協議を重ね、住んでよかったと思える町づくりを推進します。



はら だ さとる
原 田 覚 議長

今回、自治功労者表彰をいただきましたことは、町民のみなさまをはじめ多くの方々のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。これからもみなべ町発展のために努力してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

自治功労者表彰
(町村議会議員として15年以上
在職し功労があった者)



みや ぎき あき ひろ
宮 崎 明 局長

4月の人事異動で事務局長として議会事務を担当させていただきます。町民のみなさまから選ばれた議員さんのご指導とご協力の下、適正な業務執行に努めてまいります。よろしくお願いいたします。

**議会事務局長
就任あいさつ**



防 災

たま い のぶ ゆき
玉 井 伸 幸 議員

質問 能登の教訓 孤立化への備えとは
答弁 町自身が「自助」として役立ちたい



「能登」から防災の
基本方針に変更は
ないのか

質問

能登半島地震では、被災地が細長い半島の先端だったため「孤立化」という事態が起きた。南海トラフ大地震での被災範囲の広さを考えれば、県や国の支援がいつ届くか心もとない。したがって、我々は自分たちで何とかしなければならぬ。今回の地震を踏まえ、町の防災の在り方につ



能登半島地震 避難所 北國放送記事より

いてその基本的な考え方に何らかの転換や変更を考えているのか。

町長

能登地震では、孤立集落が多く発生し救助や支援が非常に困難となっており、同じく半島の当県でも同じ状況になるだろう。今回気づかされた点も多いが、まずは事前に用意できるものは事前に用意をして備えるという基本的な考え方に変わりはない。

具体例をあげ
問題提起したい

再質問

「自分たちで何とか」という視点でいくつか具体例を挙げたい。(右枠内)

町長

① 避難所は、統合

孤立化想定 防災課題

- ① 家に戻れない人の二次避難所が計画にも示されていないが
- ② 小山田倉庫の当面の備蓄計画は十分か。町内各地に備蓄庫を。
- ③ 小山田拠点は高速道路との直結やヘリポート設置が必要では。
- ④ 飲み水よりも洗面、風呂、トイレなど生活水の不足が深刻な問題だが。
- ⑤ 遺体安置所の場所決めが難しいが。がれきや災害ゴミの撤去、搬出は。

助」、2割が「共助」、1割が「公助」だとされ、自助の大事さが言われてきた。自助・共助・公助は、町・県・国に当てはまる。「自分たちで何とか」のためにもみなべ町としての自助が大きな力となる。そのあたりの理念あるいは覚悟を聞きたい。

町長

後の高城中学校跡地は候補になる。跡地をどう扱うかとも考え合わせていきたい。
② 備蓄は、3日目までは住民、市町村及び県の備蓄物資で対応し、それ以降は国から供給される。県は計画見直しも考えておりこれに準じたい。町では各地の自主防災組織で備蓄をお願いし、倉庫や物品への予算化をしていきたい。
③ ヘリポートはこども園駐車場としているが、ここに避難する人も想定されるので別の場所を探す必要がある。
④ 水の循環システムは非常にいいと感じており、検討したい。
⑤ 遺体安置所の場所は検討中。がれき処理は、被災状況や分別、焼却等で近隣市町村と連携を図る必要があるだろう。

みなべ町としての
自助を

再々質問

過去の震災から、助かった人の7割が「自

れたとおりまさしくみなべ町自身が自助として役立っていきけるようにがんばっていきたい。

みや ぎき しげ ゆき
宮崎 繁 幸 議員



ペット

質問 回答 ペット火葬や埋葬についての今後、町としての考えは町としての火葬、納骨施設は考えていない民間でお願いしたいと考えている

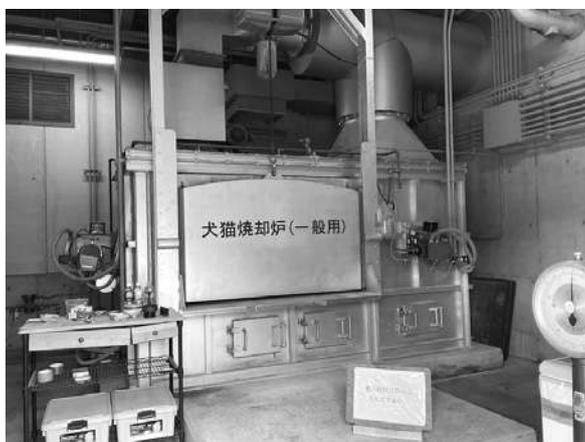


質問

みなべ町にペットとして登録されている個体数は約1000体と聞いている。愛玩者と言われる方々の関わり方は様々であるが、そのペットと呼ばれる犬や猫の亡くなった後の火葬や埋葬施設は現在みなべ町には、作られていない。近隣では、串本に火葬場、埋葬については印南の寺で行われていると聞いている。田辺市においては火葬、埋葬施設があるが利用できるのは田辺市民だけ。一般業者の移動式火葬車も聞かせて頂いたが、この問題について町長はどういった方向性で考えているのか聞いてみたい。

町長

今後の方向性であるがペットの火葬問題は民間で考えている。みなべ町としての火葬、納骨



施設は考えていない。田辺市に現状を伺ったところ、他の市町村からの受け入れは難しいと聞いている。

生活環境課長

日高郡圏域と西牟婁郡圏域の自治体で、田辺市を除く10市町はすべて民間委託となっている。

しかし、廃棄物処理については広域的ニーズがある中でこのことを進める動きはあるが、

広域一般廃棄物処理についても協議中であり、動物火葬問題については民業圧迫にならない程度に残していくとの意見もある。

ただ、市の方の火葬運用法況は1体の処理に4〜5時間稼働できるのはゴミ処理機本体の焼却炉が動いている時だけであることから市民の方にも待つて頂いている状況。今後、田辺市のペット火葬の状況を注視しながら何らかの良い方向性を考えていきたい。

再質問

担当課、町長の答弁も理解はしている。また、田辺市の説明の中で火葬は一日3体が限

度。現状、他の市町村からの受け入れは難しいとの説明も理解をしているが、あえて再質問として聞いてみたい。

3月議会の予算の中に動物の死骸を冷凍する冷凍庫の予算が付けられていた。その冷凍庫を利用する事で田辺市の火葬スケジュール調整をすることをお願いできるのではないかと山や海岸に埋めることができないのであれば、広域で抱える問題として解決に向け最良の選択をお願いしたい。

町長

財政的にも順位があるが、町民の理解を求めることが先決。この問題については広域で検討していきたい。

再々質問

広域問題として認識をして頂いたのであれば、我々が考えていか

なければならぬのではないかと。そしてゴミ処理を広域と考えるならペット火葬も契約の中にオプションとして付け加えることができないか。解決案として火葬炉をあと一基とか炉のスケジュール調整とかそういったことを、各市町トップ会議で、町長が先頭を切って解決に向けて努力をすることをお願いしたい。

町長

オプションとして付けるのは難しいと考えるが担当課も言ったように火葬施設については広域で考えていきたい。ただ、ペットと一般動物死骸を分ける部分というのは今後の課題と考える。霊園問題についても政教分離という観点から難しい。民間を圧迫しないような形で検討していきたい。



選挙

しもむら つとむ
下村 勤 議員

質問 答弁 町づくりの取り組みと次期町長選挙について
安心して暮らせるまちづくりに取り組んできました
皆様の声に応えるため出馬の意向を固めました



質問

小谷町長におかれましては旧村当時、職員として務められ、平成14・15年と町村合併協議会事務局長として、合併後は副町長を歴任、平成20年、山田町長の後を継いで町長として当選され、四期を終えようとしています。

就任してこれまで大きな災害や不祥事もなく、町の発展に多大な貢献をされましたことに感謝を申し上げます。これまでの自身の成果はどうであったのか、残りの任期でできないことも多々あると思いません。

町長 そのことを踏まえて、次期町長選挙についてのお考えをお伺いします。
四期16年間、自身の行財政運営については「第2次長期総合計画」に沿いながら順調

に進んできました。産業振興や災害対策、特定健診受診率の向上、学校統合事業など取り組んできました。

この間、町民の皆様のご理解ご協力を賜りながら職員とともに町民の皆様が安心して暮らせるまちづくりに取り組んできました。

今後も防災対策や一次産業の活性化など、早急に進めなければならぬ課題はたくさんあります。

ふるさと発展のため、リーダーとして舵取りをすすめてほしいという声をいただいております。熟慮に熟慮を重ねた結



果、皆様にお応えすることが私の使命と考え、出馬の意向を固めました。次の世代により良

い形で引き継げるよう、精いっぱい頑張つてまいります。

自治振興

質問 答弁 自治振興補助金の増額を
応分の負担を考え算定基準を見直し、検討していきます。

質問

この補助金は、令和5年度に改正され、各自治区では非常にありがたく感謝申し上げます。コロナが5類に移

町からの補助金のさらなる検討をお願いします。

行され区の行事もコロナ禍前に戻りつつあります。

町長

平成16年10月の住民基本台帳の登録人口は、1万4939人、世帯数は4517世帯でした。合併から20年を迎え、約3300人減少しています。

その間、各自治会は、区費を納めて頂ける世帯が減少していること、また様々な事情により区費の回収にご苦勞をされているということをお聞かしています。

しかし、区によって人口減少に伴い、世帯数の減少と高齢化による区費の減少で財政的に非常に厳しい区が多くあります。物価の高騰もあり、区費の値上げについては今はとてもできないと言われている。



「自治振興補助金」区の運営に対して町から一定の金額を補助している

合併以降地域の発展と福祉活動の振興を図る目的で、自治会活動に対し補助金を交付しています。
昨今、原材料費等の上昇が物やサービスにも上乗せされ、物価が高騰しています。算定基準を若干見直して、補助金を支払っています。令和7年度の補助金については、各自治会が活発に活動され住民福祉に寄与されるよう、町としても応分の負担を考え算定基準を見直し、検討していきます。

防災

でぐちはるお 出口晴夫議員



質問 能登半島地震を受けて防災への備えと再点検が必要では
答弁 防災計画の再検討は必要!
災害への備えはスピード感を持って各種対策を実施



南海トラフの被害は能登半島地震をはるかに上回ると予想

質問

能登半島地震は、最大震度7を記録し、我々の予想をはるかに上回る被害が発生しました。特に、同じ半島地域で発生したこともあり、今後の防災対策を考える上で、多くの課題や問題点が見えてきました。

将来の「南海トラフ地震」発生を考えた時、被害規模や範囲は、能登半島地震をはるかに上回るものと予想されます。

これまで決定した防災対策や地域防災計画で十分なのか非常に心配されます。

町長

どれだけ良い対策や計画を作りましても、これで完璧、というも

各質問項目に対する町長答弁の概要

○集落等の孤立対策

- ◎高速道路に緊急車両の乗り降りゲートの増設(東岩代、山内地区)
NEXCO西日本・和歌山工事事務所から検討するとの回答を頂いている。
- ◎大型ドローンを活用した支援物資の搬入
県内の自治体で検証実験しているところがあるが、当町では今のところ検討していない。
- ◎避難所への衛星電話の配置
検討して、必要なところに配置したい。

○「がれき処理」、仮設住宅建設用地の準備対策

- ◎防災協力農地の登録制度の創設と取り組み開始。
今後、検討を加えてまいりたい。
ごみ焼却については田辺周辺広域市町村圏組合の防災部会で提案をしている。

○避難施設の安全確認や避難所の増設

耐震性の確認が終了し、二次避難所・福祉避難所については、4か所の確保となっている。

○住宅の耐震、地盤の液状化調査の実施と耐震改修対策

- ◎耐震改修への補助金アップや予算増額
精度と重要性を重視、積極的な広報と戸別訪問も実施をしたい。
- ◎より精度の高い液状化マップを作成(国・県の補助事業活用)
県全体の液状化予測図しかなく、みなべ町の液状化ハザードマップ作成に向けて検討したい。

○各地域での防災力向上とコミュニティの強化

消防団への多様な人材確保等、防災訓練の強化を消防団とともに進めたい。
自主防災組織のさらなる実効性確保については、自主防災会で各地区に専任委員の選出と複数年の担当を要請している。現在、34地区中、専任制が14地区となっている。
コミュニティの確保は、避難所の開設後は地区別を基本に行い運営や地区の復興を進めたい。

○備蓄品の充実と準備の加速

小山田の備蓄倉庫の備蓄品確保は、スピード感を持って進めたい。
情報収集用ドローンの確保については、現在2台あるが、追加配置も検討したい。
災害現場で素泊まりできるテントの準備についても消防団と検討したい。
各住民向けの防災備蓄品は、非常に多岐にわたるため、各地区の自主防災会を中心として、町民の皆様とともに考えていきたい。自主防災会には、防災の備蓄品、資機材の補助金制度があるので、積極的な利用をお願いしたい。

提案したい備蓄品



ポリブル浄水剤



ペロプスカイト太陽電



携帯用小型浄水器



ロケットストーブ

のはございませぬ。今後も検証と訓練を繰り返し実施し、事前に用意できるものは事前に用意して備える、という基本的な考え方に沿って防災対策に取り組んでまいります。 ※主な質問と答弁は別

再質問

住宅の耐震化については、本当に、多くの方が関心を持って、無料診断に殺到しているところですが、予算規模や早期対応

町長

を考えると、住宅の部分耐震改修の考えもあるのではないのでしょうか。 寝室だけを補強しておくという方法も聞いてはいますが、果たし

て、それが今の補助制度に合うのか、単独でやれば問題ないが、補助金を使うとなると補助要綱がございますので、その部分を考慮しながら、できる方向で検討をして行きたい。



防 災

やまもと しゅうへい
山本秀平 議員

質問 巨大地震で犠牲者を出さない取り組みを
答弁 耐震化の重要性、携帯トイレ等の広報を進める



質問

地震災害による犠牲者には、揺れや津波による直接死と災害関連死の2つに分けられます。

①直接死への備えを
みなべ町は建物の全壊率が県内で2番目に高い32%となっています。

耐震化率は65%となっており、県全体の82%や全国の87%に比べても低い状態です。建物の倒壊による圧死だけでなく、避難経路への悪影響も考えられることから、耐震化を進めることは重要だと考えます。

今後耐震化率を上げていくための考えは、②災害関連死の備えを避難所環境の整備や仮設住宅の早期建設が重要です。

特に、トイレが衛生的でないと感じるリスクが高まることや、

トイレを我慢するため水分や食事の摂取を控えることで、エコノミークラス症候群の可能性が高まります。地震による断水や下水管の破損が想定される中でのトイレ環境についての考えをお聞きします。

また想定する仮設住宅の建設期間について説明をお願いします。

町長

耐震化率を上げるためには、補助制度等、住宅耐震化の重要性を多くの人に理解してもらうために広報活動をし、令和元年度まで行っていた戸別訪問を行って、住宅の耐震について説明をしたいと考えています。

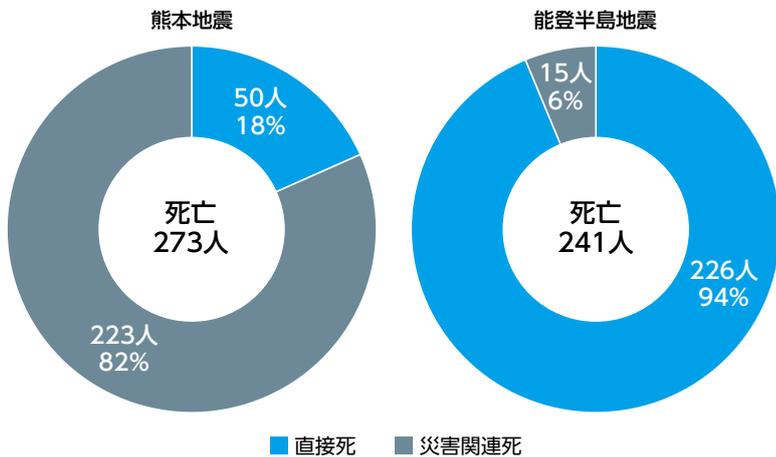
トイレ環境ですが、携帯トイレの使い方、それから個人での備蓄について、自主防災会を中心に広報をしてい

きます。

まずは、備蓄トイレの使い方や体験をしていただきたいと考えています。

応急仮設住宅の建設期間の想定は、発災当日から、県と調整をしながら、1週間で必要戸数の確認と建設候補地の確認を完了し、2

直接死と災害関連死



再質問

能登半島地震の状況を見ますと、仮設住宅の建設まで半年以上か

週間では配置計画を確認、県で工事発注し、着工から完成までは、3、4週間程度と想定すると、早くして約1か月過ぎるの人居となります。

かと想定されています。

また能登町の支援に行った際に感じたことは、職員さんの疲れが相当溜まっていると感じました。職員さんも被災者です。仮設住宅の早期建設と自助共助の精神を高めるためにも、地域防災計画の見直しに加えて、地区防災計画の策定についても検討すべきではないでしょうか。

町長

仮設住宅については必要であると思いますが、国民宿舎や旧南部ロイヤルホテルをどのように利用するのか検討を進めたいと考えています。自助共助の精神については、町で防災計画をつくり、それをいかに町民に説明していくかが大事だと考えています。

いけだ みちる
池田 三千留 議員



防災



質問 小学校体育館への空調設置を
答弁 基本的には、設置の方向で進めたい



質問

昨年の夏は平均気温が1898年の統計開始 이래最高を記録するなど、学校体育館への空調設置が改めて緊急課題となっている。頻発する豪雨災害や能登半島地震など、学校体育館は災害時の指定避難所として活用されることや、様々な行事の場所として利用されることから空調設置が急がれる。町の体育館への空調設置状況などは。

国からの財政支援を利用して小学校体育館への空調設置を求めると。

町長

みなべ町の小中学校体育館の空調設置状況は、令和3年度に、公共施設等適正管理推進事業債及び緊急防災減災事業債を有効活用して、町内3中学校の体育館に設置済みとなっています。

学校の体育館に空調設備を整備することは、児童生徒の熱中症対策として、たいへん重要です。災害時に、地域住民の避難所としての利用も想定されるために、防災機能強化の観点から、たいへん望ましいものと認識しています。しかし、空調設備の設置には、多額の費用が必要になることから、補助事業や有

利な事業債等、活用可能な財源措置を精査しながら、前向きに検討して基本的には、設置の方向で進めたいと思います。

給食

質問 県が提案した給食費無償化を受けて町も実施を
答弁 国や県の動向を注視し慎重に検討していきたい

利な事業債等、活用可能な財源措置を精査しながら、前向きに検討して基本的には、設置の方向で進めたいと思います。

町は第3子以降の多子世帯への給食費補助や支払い困難なご家庭への就学支援援助を行っています。県の要綱等制度設計の詳細がまだ示されていない状況ですので、引き続き、検討していきます。

質問

県は子育て世帯の経済的な負担を軽減するため、今年秋から、県内小・中学校と県立特別支援学校の給食費無償化への取り組みを提案した。提案内容の詳細は。

教育長

食料費等の上昇が継続する中、給食センターでは予算内でメニューを工夫し、質を維持しながら提供している状況です。無償化は子育て支援の一環にはなると思いますが、食料費などは法の趣旨に基づき保護者負担を原則として継続し、現時点では給食費の完全無償化は考えていませんが、今後も県及び国の動向、情報及び状況を注視し検討していかねければと思っています。

町長 無償化には恒久的な多額の財源確保が必要。将来的な各事業などを長期的に見据えたいと考えます。現時

町長 無償化には恒久的な多額の財源確保が必要。将来的な各事業などを長期的に見据えたいと考えます。現時

教育学習課長

町は第3子以降の多子世帯への給食費補助や支払い困難なご家庭への就学支援援助を行っています。県の要綱等制度設計の詳細がまだ示されていない状況ですので、引き続き、検討していきます。

公共交通

質問 コミバスの改善策の進捗状況とこれからの計画は

町長

令和5年度で現状把握を行い、令和6年度で改善計画を進めて、令和7年度より新しくできる見通しです。

総務課長

商業施設への乗り入れの案や、電車やバスへの乗り継ぎの見直しなどです。家の近くまでという要望はほとんど無理かと。



交通安全

谷本吉弘 議員

質問 町道埴田堺線(農免道路)と県道中芳養南部線の合流地点の不具合の解消を
答弁 交通事故を減らすように努めます



県道と埴田堺線の合流地点

質問

2月13日の夕方、町道埴田堺線と県道中芳養南部線の合流地点で交通事故がありました。埴田堺線ができて数十年間、埴田堺線からは右折可能、県道からは左折可能だったところが、10年ぐらい前から

らでしようか、双方から右左折禁止になりました。

その当時は警察も取り締まりを頻繁にしていたため、事故等も少なかったように思います。ただ時間の経過とともにドライバーも注意を怠るようになって

きて、右左折する車が增えてきています。数年前には右左折しにくいように県道のセンターラインにポールが設置されましたが、残念ながらあまり効果があるとは思えません。

県道と埴田堺線の接続部分に問題があるのではないかと。この道路の取り付けの不具合について町長はどのように認識しているのか。

町長

県道と町道の接続部分の事故件数は、過去5年間で一件です。警察の取り締まり強化、センターラインへのポールの設置及び路面表示により、効果が出ていると考えています。接続部分に対しての不具合はないものと考えています。まずは交通ルールを守っていただくが一番ですが、守っていただけないのであれば、道路を改良す

る以外ないのかと思っております。

再質問

埴田堺線から県道へのアクセス道路としては、松原添線から埴田線へ4mで入って5mで県道へつながっています。この道をバイパス道路として使うのであれば、生活道路としてではなく、都市計画のような大きな計画の中で、安全通行のための道路改良として考えて頂きたい。一般道として使うのであれば、町が主導して区が協力をする、そういう考えであるべきと思うが。

町長

松原添線、埴田線に固執しているわけではありませんが、新しい道を作るのは非常に問題があろうかと思えます。生活道路として使っている松原添線をう回路と

して使えば、事故の減少につながるのではないかと、現場を踏査し検討したいと考えています。

再々質問

松原添線を6mぐらいに広げて、埴田線をL字に曲がって、旧南部川村へ行く方についてはこの道を通ってください。国道方面へ出る方は今までの道を通ってください。そんな方法もあるのではないかと。と思うが。

町長

道路の拡張については、埴田堺線の交通量調査を国道事務所で行っていただき、どれくらいの台数が通れるのかを把握した上で検討していきたいと考えています。一件でも交通事故を減らすように努力いたします。

防災

しん ぞう けん じ
真 造 賢 二 議員



質問 災害に備える移動式トイレの導入を
答弁 早急に導入したい、次回に予算計上できれば



質問

大規模な被災地でのトイレ問題は深刻です。不衛生な環境で集団感染や脱水症状、エコノミー症候群等による震災関連死のリスクが高まります。

能登半島地震の被災地で、そのトイレ問題を解決する「みんな元気になるトイレ」プロジェクトの活躍が注目を集めています。全国20の自治体がトイレトレーラーを保有しており、1

月16日には16台が能登半島に集結したとのことです。

このプロジェクトは、自治体が移動式トイレトレーラーを常備しており、大規模災害時に、被災地に迅速に集結し、トイレ問題を支援しようという取組みです。平時には様々なイベント会場のトイレとして活用できます。

このトイレトレーラーの購入費用は約2500万です。「緊急



七尾市に設置されたトイレトレーラー

減災・防災事業費」を充当することができ、7割が交付税措置されます。3割をふるさと納税型クラウドファンディングで賄えば、町の負担なしに導入できます。みなべ町もこの素晴らしいプロジェクトに参画しましょう。

町長

災害時のトイレ対策は非常に重要であり、防災広場へ40基のトイレ建設や各避難所へも想定人数分の簡易トイレや携帯トイレを備蓄していきます。

トイレトレーラーについては、能登町へ派遣した職員から、水洗洋式

トイレが4基あり、広く清潔で、夜も明るく防犯面も考慮されており、安心して使用できるトイレだとの報告を受けています。

助けあいジャパンの代表者とも面会し、担当者レベルでも購入に向けて検討しています。購入費用約2500万円

はふるさと納税型クラウドファンディングで寄付を募り、充当したいと考えています。ただ、小回り、けん引免許を勘案すると自走式移動トイレが良いのか、トイレトレーラーか、検討中です。早急に導入すべく、次回にでも予算計上できればと考えています。

施設 質問 老朽化が進む国民宿舎の将来は
答弁 最後の二つになっても維持したい

質問

国民宿舎紀州路みなべの本館は築53年経過し、近い将来、使用に耐えられなくなるはずですが、「みなべ町個別施設計画」では、建替えに21億円、大規模改修に12億円掛かると試算されています。

一方、憩いの場として愛され、働く場、観光拠点、避難所として大切な施設です。

国民宿舎の将来についての二つ所見を。

町長

町にとって大事な施設、少しでも長く維持できるように小規模な改修で対応していきます。停電時の避難に備え、自家発電や太陽光発電の設置を考えています。全国の国民宿舎が減少するなか、最後の二つになつても頑張りたいの思っています。



産業建設常任委員会 委員会レポート



2月9日に上富田町生馬にある木質バイオマス発電所を視察しました。

DSグリーン発電和歌山合同会社紀南発電所

令和2年（2020年）

6月に和歌山県内初の木質バイオマス発電所となるDSグリーン発電和歌山合同会社紀南発電所が運転を開始しました。

発電出力6,800kw、年間送電量4,800万kwh。一般家庭1.3万世帯分に相当し、上富田町、白浜町、田辺市の一部をまかなえる電力量とのことでした。

西牟婁森林組合田辺木材



写真提供：グリーンサーマル和歌山株式会社様

共売所に隣接し、敷地、送電設備、木材供給等の立地条件が整い、約50億円かけて建設されたそうです。現状でも広い敷地でありすが、さらに隣地に新しく造成工事が行われているのを見て事業の順調さを感じました。

燃料に使われる間伐材などの未使用材や一般材など年間7万6,000トン消費しているとのことでした。1日に換算すると200tの量の木材が消費されています。昨年視察した町有林上木台で伐採した8haの木材が1,891m³、重量にして1,000t。これが5日間で消費することを考えるとすごい量であると感じました。

山林関係者の話では、紀南地域は



木材や枝葉などチップに粉砕

伐期をむかえた山林が多くあり、それを見据えてのことではないかとの話を聞きました。

木質バイオマス発電所では、これまで林内に残してきた間伐材や細い枝などの低質材を燃料に使い、それ



チップをボイラーに送る

らの木材は買い取ってもらえるため、林業関係者からも歓迎されていると聞きました。

バイオマス発電所での間伐材の使用により、適正な森林管理の促進が期待できます。



蒸気でタービンを回す発電

カーボンニュートラルの観点から

木材を燃焼することで二酸化炭素を大気中に放出することになりますが、この二酸化炭素は木の成長過程で光合成により吸収されるので大気中の二酸化炭素は増加していません。

町内あれこれ

『梅をPRするラッピングバス』を東京都内で運行します！

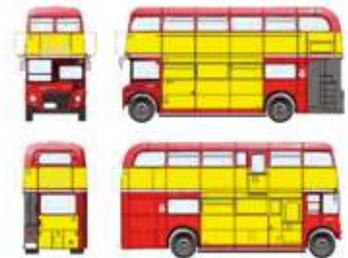
昨年、県が協賛して運行した同企画のラッピングバス



梅をPRするラッピングデザインを施したロンドンバスを東京都内で運行します。期間は5月31日～6月30日のうち25日間の予定です。

走るだけで抜群の広告効果を期待でき、乗客や通行人によるSNSでの発信も期待できます。みんなで注目しましょう。みなべ町合併20周年を記念した企画です。

ラッピングデザイン範囲



一日3便の運行で、「銀座」を発着、東京タワー、渋谷スクランブル交差点、表参道など東京の名所を巡る観光ツアー（アフタヌーンティーバスツアー）の協賛として、バスにみなべ町の梅をPRするラッピングデザインを施します。

乗客の皆さまへの梅干しや梅関連商品の提供、プレゼントも行うとのことです。また、発着地の「観音山フルーツパーラー」内にPRブースを開設する予定です。

議会の傍聴にお越し下さい
次回の開会予定は次の通りです

5月議会

5月16日(木)午前9時～

あ と が き

3月議会において令和6年度予算が可決され、4月から新たな年度が始まりました。

今年度、子どもに関する業務をワンストップ化した「子育て推進課」、企画・政策立案の専門的部署でもある「政策推進課」が新たに設置されました。

「電子申請サービス」に始まり、DX（デジタルトランスフォーメーション）が一層推し進められています。今年度、子育て支援アプリ「母子モ」が導入される予定です。

新たな取組や予算を今月の「議会だより」に掲載していますので一読していただければ幸いです。私たち議員も町民の皆さまの思いに寄り添いながら、「住みよいまちづくり」に邁進していきます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

広報特別委員会 細川 安弘